

最適配置のプログラム

後藤和雄・大平正雄

Kazuo GOTO and Masao OHIRA: A computer program of optimum arrangement

(1993年4月20日 受理)

1 はじめに

オペレーションズリサーチ(米語では, Operation Research, OR, 英語では, Operational Research という)は, 第2次世界大戦中に, イギリスで対空火器の研究に関して生まれ, すぐにアメリカにもその思想が伝わり, 米国で活発に研究された。軍事行動の効果を最大にするための研究に, 多くの数学者たちがかかわり, 物資の効率的輸送, 生産性の向上, 最適配置といった問題を解決することに端を発したものである。戦後, これらのノウハウを持った人たちが, 企業の利益を上げるという目的に利用できることに気がつき, 大いに研究されて, 今日に至っている。OR は, その後, 一般化され, ある体系があり, その運営に関して起こるいろいろな問題を科学的, 数学的に解決するための具体的な研究として位置づけられている。

日本には, 戦争中には, このような科学的, 数学的戦略がなかったので, いろいろと無駄や失敗もあったようである。しかし, 戦後になり工業が立ち直るにつれ, 技術者や研究者が, 米国のオペレーションズリサーチの考え方を導入し, 現在ではいろいろな場所で使用されている。

OR の数学的モデルには, 配分, 競争, 待ち合わせ, 在庫, 生産計画モデルなどがある。OR による解の求めるアルゴリズムは,

- (1) 問題の定式化
- (2) モデルの作成と解の探索
- (3) モデルと解との比較検討
- (4) 解を管理し実施すること

からなる。

線型計画法は, いろいろな本でよく扱われており, また, コンピュータプログラムも書籍に載っている。この線型計画法の歴史は, 少なくとも G. Monge (1781) や J. B. Fourier (1823) まで遡ることができるようである。

この論文では, 最適配置の問題をとり上げ, それを効率的に解決するハンガリー法を紹介し, そのコンピュータプログラムを Basic と C 言語で作成したのでここに載せて, 使用する人の便宜をはかることを目的としている。Basic は, *N₈₈-DiskBasic*, C 言語は Turbo C を用いている。このプログラムの特徴は, すべての解の組み合わせが求められることである。テクニカルな所もあるが, モジュールに分解し, 分かりやすく書いてある。

2 最適配置の問題

ある n 個のものを n ヶ所に 1 つずつ配置をするとき、 i のものを j の場所に配置するコストが a_{ij} 必要とする。これを行列表示すると次のようになる。

$$i \begin{pmatrix} & j & \\ & \vdots & \\ \cdots & a_{ij} & \cdots \\ & \vdots & \end{pmatrix}$$

行列 A で考えても、もとの問題と同値となるから、以後、行列で考える。

n 次正方形行列 A の配置とは、 A の成分より n 個を取りだした数の組

$$(a_{1p(1)}, a_{2p(2)}, \dots, a_{np(n)})$$

(ただし、 $p(1), \dots, p(n)$ は、 $\{1, \dots, n\}$ の置換) で、どの行からも、どの列からもちょうど 1 個の成分が入っているように取られたものである。これは、8クイーンの問題と関連している。このような配置の数は、行列 A が n 次正方形列とすると $n!$ とおりの配置が存在する。

1 つの配置 (b_1, b_2, \dots, b_n) が最適であるとは配置の値

$$b_1 + b_2 + \dots + b_n$$

が最小となるときをいう。(符号を反転すると、最大値になるときも求めることができる) 有限の組み合わせしかないから、最適な配置は常に存在するが、一意に決まるとはかぎらない。また、 $n!$ の組み合わせがあるので、これは n が大きくなると急に大きくなりすべての組み合わせを求めて計算するというには、時間がかかり困難に直面する。たとえば、 $20! = 2.4329 \times 10^{18} \approx$ 約 243.29 京 (1 京 = 10000 兆) で不可能に近い。これを劇的に解決する方法として、ハンガリー法 (cf. [1], [3]) がある。そのアルゴリズムを書くとき次のようになる。

手続

1. 各行の最小数を見つけて、その行の各成分からその数を引く
2. 各列の最小数を見つけて、その列の各成分からその数を引く
(1, 2 は順序が逆でもよい)
3. 行と列の上にくつかの線をすべての 0 の上を通るように引く。
このとき、線の本数は最も少ないようにする。
4. (最適性)
 - (a) 引いた線の数が n ならば 0 のみからなる配置を 1 つ見つけてこのプログラムを終わる。(この論文では、すべての解を求めるプログラムを作成している)
 - (b) 引かれた線が n 本未満ならば 5 へ
5. 線が引かれていない成分の中で最小数 $M > 0$ をみつける。
6. 線が引かれていない成分から M を引き、線の交点の成分には M を加え、1 へもどる。
具体例で行ってみると次のようになる。

例 1.

$$\begin{aligned}
 & \begin{pmatrix} 4 & 6 & 9 \\ 7 & 9 & 9 \\ 5 & 3 & 2 \end{pmatrix} \rightarrow \text{手続 1} \rightarrow \begin{pmatrix} 0 & 3 & 7 \\ 3 & 6 & 7 \\ 1 & 0 & 0 \end{pmatrix} \rightarrow \text{手続 2, 3} \rightarrow \begin{pmatrix} \textcircled{0} & 3 & 7 \\ 0 & 3 & 4 \\ \textcircled{1} & 0 & 0 \end{pmatrix} \rightarrow \text{手続 4 (b)} \rightarrow \\
 & \rightarrow \text{手続 5 (M=3)} \rightarrow \text{手続 6} \rightarrow \begin{pmatrix} 0 & 0 & 4 \\ 0 & 0 & 1 \\ 4 & 0 & 0 \end{pmatrix} \rightarrow \text{手続 1, 2, 3} \rightarrow \begin{pmatrix} \textcircled{0} & \textcircled{0} & 4 \\ 0 & 0 & 1 \\ \textcircled{4} & 0 & 0 \end{pmatrix} \rightarrow 4 (a) \rightarrow \\
 & \rightarrow \begin{pmatrix} \textcircled{0} & 0 & 4 \\ 0 & \textcircled{0} & 1 \\ 4 & 0 & \textcircled{0} \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} 0 & \textcircled{0} & 4 \\ \textcircled{0} & 0 & 1 \\ 4 & 0 & \textcircled{0} \end{pmatrix}.
 \end{aligned}$$

よって、求める最適配置は

$$(a_{11}, a_{22}, a_{33}) \text{ or } (a_{12}, a_{21}, a_{33})$$

である。

以下に Basic 言語と C 言語を用いて開発したプログラムと実行例を掲載する。

References

- [1] 伊藤昇・他：行列とその応用，紀伊国屋書店 (1987).
- [2] 岩堀長慶：線型不等式とその応用 (岩波講座基礎数学)，岩波書店 (1977).
- [3] T. L. Saaty: Mathematical methods of operations research, McGraw-Hill, 1959 (邦訳) オペレーションズリサーチの数学的方法，上，下，紀伊国屋書店，1960.

Abstract

We make a computer program for optimum arrangement in two variable linear programming by using Hungarian method (cf. [3]). We use N_{88} -Disk Basic (NEC) or Turbo C (Borland) to develop the program.

プログラム実行例

```

正方形列の次数を入力してください 3
1 行 1 列の値は 4
1 行 2 列の値は 6
1 行 3 列の値は 9
2 行 1 列の値は 7
2 行 2 列の値は 9
2 行 3 列の値は 9
3 行 1 列の値は 5
3 行 2 列の値は 3
3 行 3 列の値は 2
1 行 4 6 9
2 行 7 9 9
3 行 5 3 2

正しいですか Y/N ?Y
---手続 1---
---手続 2---
---手続 3---
0 1 5
0 1 2
3 0 0

線の数 2
線の数 2
---手続 4---
---手続 5---
---手続 1---
---手続 2---
---手続 3---
0 0 4
0 0 1
4 0 0
線の数 1
線の数 2
線の数 3
---手続 4---
4 6 9
7 9 9
5 3 2
この配列の最適配置は
( 1 1)( 2 2)( 3 3)
( 1 2)( 2 1)( 3 3)
2 個 解答があります

```

BASIC言語プログラムリスト

```

1000 '*****
1010 '**
1020 '**      ハンガリー法で最適の配置を求めるプログラム      '**
1030 '**      全ての答えを求める                                '**
1040 '**
1050 '**
1060 '*****
1070 DIM A(50,50),B(50,50),C(50,50),P(50),Q(50),J(50),F(50)
1080 DIM AI(50),A1(50),AJ(50),A2(50),P1(50),PD(50),Q1(50),QD(50)
1090 CLS
1100 INPUT "正方形列の次数を入力してください" ; N
1110 FOR I = 1 TO N
1120   FOR J = 1 TO N
1130     PRINT I;"行";J;"列の値は";:INPUT A(I,J)
1140     B(I,J)=A(I,J)
1150   NEXT J
1160   PRINT
1170 NEXT I
1180 '
1190 GOSUB *HYOU ' 配置行列の表示と訂正
1200 '
1210 *TETU '-----手続 1 -----
1220   PRINT "----手続 1 ----"
1230 FOR I=1 TO N
1240   MIN=A(I,1)
1250   FOR J=1 TO N
1260     IF MIN > A(I,J) THEN MIN=A(I,J)
1270   NEXT J
1280   FOR J=1 TO N
1290     A(I,J)=A(I,J)-MIN
1300   NEXT J
1310 NEXT I
1320 '-----手続 2 -----

```

```

1330      PRINT "----手続  2----"
1340  FOR J=1 TO N
1350      MIN=A(1,J)
1360      FOR I=1 TO N
1370          IF MIN>A(I,J) THEN MIN=A(I,J)
1380      NEXT I
1390      FOR I=1 TO N
1400          A(I,J)=A(I,J)-MIN
1410      NEXT I
1420  NEXT J
1430  '-----手続  3-----
1440      PRINT "----手続  3----"
1450  C=0 :MAX=0 :GOSUB *ZERO
1460  FOR I=1 TO N
1470      P(I)=0:Q(I)=0
1480      FOR J=1 TO N
1490          IF A(I,J)=0 THEN A(I,0)=A(I,0)+1
1500      NEXT J
1510          IF A(I,0)>MAX THEN MAX=A(I,0)
1520  NEXT I
1530  FOR J=1 TO N
1540      FOR I=1 TO N
1550          IF A(I,J)=0 THEN A(0,J)=A(0,J)+1
1560      NEXT I
1570          IF A(0,J)>MAX THEN MAX=A(0,J)
1580  NEXT J
1590      V=1 :GOSUB *HYOUJI
1600  '
1610  FOR M=MAX TO 1 STEP -1
1620  '
1630      GOSUB *DNYUURYOKU
1640      GOSUB *GYOU
1650      GOSUB *RETU
1660      FOR I=1 TO N
1670          A1(I)=AI(I) :A2(I)=AJ(I) :P1(I)=PD(I) :Q1(I)=QD(I)
1680      NEXT I
1690      C1=CC
1700  '
1710      GOSUB *DNYUURYOKU
1720      GOSUB *RETU
1730      GOSUB *GYOU
1740  '
1750  IF C1 >= CC THEN GOSUB *PASE1
1760  IF C1 < CC THEN GOSUB *PASE2
1770  C1=0
1780      PRINT "線の数 ";C
1790  NEXT M
1800  '-----手続  4-----
1810      PRINT "----手続  4----"
1820      IF C=N THEN *HAITI
1830  '-----手続  5-----
1840      PRINT "----手続  5----"
1850  FOR I=1 TO N
1860      FOR J=1 TO N
1870          IF (P(I)<>1) AND (Q(J)<>1) THEN MINS=A(I,J):I=N:J=N
1880      NEXT J
1890  NEXT I
1900  '-----線が引かれていない成分から最小数を決める-----
1910  FOR I=1 TO N
1920      IF P(I)=1 THEN *HH
1930      FOR J=1 TO N
1940          IF Q(J)=1 THEN *EE
1950          IF MINS>A(I,J) THEN MINS=A(I,J)
1960      *EE
1970      NEXT J
1980      *HH
1990      NEXT I
2000  '-----6-1-----

```

```

2010 FOR I=1 TO N ' 行列のすべての成分から
2020 FOR J=1 TO N ' Mを引く
2030 A(I,J)=A(I,J)-MINS
2040 NEXT J
2050 NEXT I
2060 '-----6-2-----
2070 FOR I=1 TO N ' 線を引いた行の成分は
2080 IF P(I)<>1 THEN *FF ' にはMを加える
2090 FOR J=1 TO N
2100 A(I,J)=A(I,J)+MINS
2110 NEXT J
2120 *FF
2130 NEXT I
2140 '-----6-3-----
2150 FOR J=1 TO N ' 線を引いた列の成分には
2160 IF Q(J)<>1 THEN *GG ' Mを加える
2170 FOR I=1 TO N
2180 A(I,J)=A(I,J)+MINS
2190 NEXT I
2200 *GG
2210 NEXT J
2220 '
2230 GOTO *TETU ' 手続 1 へ
2240 '
2250 *HAITI'----0のみの配置を捜す-----
2260 PRINT:PRINT:V=0:GOSUB *HYOUJI
2270 PRINT "この配列の最適配置は"
2280 I=1:J(I)=0
2290 *LOOP
2300 F(J(I))=0
2310 IF J(I)=N THEN J(I)=0 :I=I-1 :GOTO *LOOP
2320 FOR Z=J(I)+1 TO N
2330 IF ( F(Z)<>0 )OR( A(I,Z)<>0 ) THEN *SKIP
2340 J(I)=Z :J(I+1)=0 :F(Z)=1 :Z=N :I=I+2
2350 *SKIP
2360 NEXT Z
2370 '
2380 I=I-1
2390 IF I>N THEN GOSUB *ANS
2400 IF I>0 THEN *LOOP
2410 PRINT KEI;"個 解答があります"
2420 END
2430 '
2440 '-----サブルーチン-----
2450 *HYOUJI
2460 FOR I=1 TO N
2470 FOR J=1 TO N
2480 IF V=0 THEN C(I,J)=B(I,J) ELSE IF V=1 THEN C(I,J)=A(I,J)
2490 PRINT USING "####";C(I,J);
2500 NEXT J
2510 PRINT
2520 NEXT I
2530 RETURN
2540 '
2550 *ZERO
2560 FOR I=1 TO N
2570 A(I,0)=0 :A(0,I)=0
2580 NEXT I
2590 RETURN
2600 '
2610 *GYOU
2620 FOR I=1 TO N
2630 IF AI(I) <> M THEN *AA ELSE PD(I)=1:CC=CC+1
2640 FOR J=1 TO N
2650 IF A(I,J)=0 THEN AI(I)=AI(I)-1 :AJ(J)=AJ(J)-1
2660 NEXT J
2670 *AA
2680 NEXT I

```

```
2690 RETURN
2700 '
2710 *RETU
2720 FOR J=1 TO N
2730   IF AJ(J) <> M THEN *BB ELSE QD(J)=1:CC=CC+1
2740   FOR I=1 TO N
2750     IF A(I,J)=0 THEN AI(I)=AI(I)-1 :AJ(J)=AJ(J)-1
2760   NEXT I
2770   *BB
2780 NEXT J
2790 RETURN
2800 '
2810 *DNYUURYOKU
2820 FOR I=1 TO N
2830   AI(I)=A(I,0) :AJ(I)=A(0,I) :PD(I)=P(I) :QD(I)=Q(I)
2840 NEXT I
2850   CC=0
2860 RETURN
2870 '
2880 *PASE1
2890 FOR I=1 TO N
2900   A(I,0)=AI(I) :A(0,I)=A2(I)
2910   IF P(I)=1 AND P1(I)=1 THEN P(I)=1 ELSE P(I)=P(I)+P1(I)
2920   IF Q(I)=1 AND Q1(I)=1 THEN Q(I)=1 ELSE Q(I)=Q(I)+Q1(I)
2930 NEXT I
2940   C=C+C1
2950 RETURN
2960 '
2970 *PASE2
2980 FOR I=1 TO N
2990   A(I,0)=AI(I) :A(0,I)=AJ(I)
3000   IF P(I)=1 AND PD(I)=1 THEN P(I)=1 ELSE P(I)=P(I)+PD(I)
3010   IF Q(I)+QD(I)=2 THEN Q(I)=1 ELSE Q(I)=Q(I)+QD(I)
3020 NEXT I
3030   C=C+CC
3040 RETURN
3050 '
3060 *ANS
3070 FOR K=1 TO N
3080   PRINT USING "(## ##)";K,J(K);
3090 NEXT K
3100   PRINT :I=I-1 :KEI=KEI+1
3110 RETURN
3120 '
3130 *HYOU
3140 FOR K = 1 TO N
3150   PRINT USING "#### 行   " ; K ;
3160   FOR J = 1 TO N
3170     PRINT A( K, J ) ;
3180   NEXT J : PRINT
3190 NEXT K
3200 '
3210 *CHECK
3220   PRINT : PRINT
3230   PRINT "正しいですか Y/N ?" : INPUT A$
3240   IF A$ = "Y" OR A$ = "y" THEN RETURN
3250   IF A$ = "N" OR A$ = "n" THEN GOSUB *TEISEI : GOTO *HYOU
3260 GOTO *CHECK
3270 '
3280 *TEISEI
3290   PRINT " 何行目ですか？ " : INPUT K
3300   PRINT " 何列目ですか？ " : INPUT J
3310   PRINT USING "A(## , ##) = " ; K, J ;
3320   PRINT " 訂正したい値は？ " : INPUT A( K, J )
3330   PRINT " 訂正は終わりましたか Y ?"
3340   INPUT A$
3350   IF A$ = "Y" OR A$ = "y" THEN RETURN
3360 GOTO *TEISEI
```

3370 '

出力は画面にできるようにしている

出力をプリンター等にするときは

1085行に OPEN "LPT1:" FOR OUTPUT AS #1 入れ

プログラム中で PRINT ***を PRINT #1, *** にかえる。

C言語プログラムリスト

```
#include<stdio.h>
static int a[50][50],b[50][50],c[50][50],p[50],q[50],jj[50],f[50];
static int ai[50],aj[50],al[50],a2[50],pd[50],qd[50],pl[50],ql[50];
static int d,cc,cl,m,n,v,z,zl,kai,min,mins,max;

main()
{
    int i,j;
    printf("%n正方形の次数を入力してください? ");
    scanf("%d",&n); printf("%n");
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        for(j=1;j<=n;j++)
        {
            printf("%d行%d列の値は? ",i,j);
            scanf("%d",&a[i][j]);
            b[i][j]=a[i][j];
        }
        printf("%n");
    }
    hyo();
    while(1)
    {
        /*-----手続 1 -----*/
        printf("%n---手続 1 ---");
        for(i=1;i<=n;i++)
        {
            min=a[i][1];
            for(j=1;j<=n;j++)
            {
                if(min>a[i][j])
                    min=a[i][j];
            }
            for(j=1;j<=n;j++)
                a[i][j]-=min;
        }
        /*-----手続 2 -----*/
        printf("%n---手続 2 ---");
        for(j=1;j<=n;j++)
        {
            min=a[1][j];
            for(i=1;i<=n;i++)
            {
                if(min>a[i][j])
                    min=a[i][j];
            }
            for(i=1;i<=n;i++)
                a[i][j]-=min;
        }
        /*-----手続 3 -----*/
        printf("%n---手続 3 ---%n");
    }
}
```



```

d=0; max=0; zero();
for(i=1;i<=n;i++)
{
    p[i]=0; q[i]=0;
    for(j=1;j<=n;j++)
    {
        if(a[i][j]==0)
            a[i][0]++;
    }
    if(a[i][0]>max)
        max=a[i][0];
}
for(j=1;j<=n;j++)
{
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        if(a[i][j]==0)
            a[0][j]++;
    }
    if(a[0][j]>max)
        max=a[0][j];
}
v=1;hyouji();
for(m=max;m>=1;m--)
{
    dnyuuryoku();
    gyou();
    retu();
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        a1[i]=ai[i];a2[i]=aj[i];p1[i]=pd[i];q1[i]=qd[i];
    }
    cl=cc;
    dnyuuryoku();
    retu();
    gyou();
    if(cl>=cc)
        pass1();
    if(cl<cc)
        pass2();
    cl=0;
    printf("%n線の数%d",d);
}
/*-----手続 4 -----*/
printf("%n---手続 4 ---");
if(d==n) break;
/*-----手続 5 -----*/
printf("%n---手続 5 ---");
for(i=1;i<=n;i++)
{
    for(j=1;j<=n;j++)
        if((p[i]!=1)&&(q[j]!=1))
            {
                mins=a[i][j]; i=n; j=n;
            }
}
/* 線が引かれていない成分から最小数を決める */
for(i=1;i<=n;i++)
{
    if(p[i]!=1)
    {
        for(j=1;j<=n;j++)
        {
            if(q[j]!=1)
            {
                if(mins>a[i][j])
                    mins=a[i][j];
            }
        }
    }
}

```

```

    }
}
/*          6-1          */
for(i=1;i<=n;i++)
{
    for(j=1;j<=n;j++)
        a[i][j]-=mins;
}
/*          6-2          */
for(i=1;i<=n;i++)
{
    if(p[i]==1)
    {
        for(j=1;j<=n;j++)
            a[i][j]+=mins;
    }
}
/*          6-3          */
for(j=1;j<=n;j++)
{
    if(q[j]==1)
    {
        for(i=1;i<=n;i++)
            a[i][j]+=mins;
    }
}
}

/*      0 のみの配列を探す      */
printf("%n %n"); v=0; hyouji();
printf("%n この配列の最適配列は %n");
i=1; jj[i]=0;
do
{
loop:
    f[jj[i]]=0;
    if(jj[i]==n)
    {
        jj[i]=0; i--; goto loop;
    }
    z1=jj[i]+1;
    for(z=z1;z<=n;z++)
    {
        if((f[z]!=0)||!(a[i][z]!=0))
            goto ss;
        {
            jj[i]=z; jj[i+1]=0; f[z]=1; z=n; i+=2;
        }
    }
ss:;
}
    i--;
    if(i>n)
        i=ans(i);
}
while(i>0);
printf("%n%d個 解答があります.%n",kai);
}

/*          サブルーチン          */

hyouji()
{
    int i,j;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {

```

```
        for(j=1;j<=n;j++)
        {
            if(v==0)
                c[i][j]=b[i][j];
            else if(v==1)
                c[i][j]=a[i][j];
            printf("%4d",c[i][j]);
        }
        printf("\n");
    }
}

zero()
{
    int i;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        a[i][0]=0; a[0][i]=0;
    }
}

gyou()
{
    int i,j;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        if(ai[i]==m)
        {
            pd[i]=1; cc++;
            for(j=1;j<=n;j++)
            {
                if(a[i][j]==0)
                {
                    ai[i]--; aj[j]--;
                }
            }
        }
    }
}

retu()
{
    int i,j;
    for(j=1;j<=n;j++)
    {
        if(aj[j]==m)
        {
            qd[j]=1; cc++;
            for(i=1;i<=n;i++)
            {
                if(a[i][j]==0)
                {
                    ai[i]--; aj[j]--;
                }
            }
        }
    }
}

dnyuuryoku()
{
    int i;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        ai[i]=a[i][0]; aj[i]=a[0][i]; pd[i]=p[i]; qd[i]=q[i];
    }
    cc=0;
}
```

```

}

pass1()
{
    int i;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        a[i][0]=a1[i]; a[0][i]=a2[i];
        if(p[i]==1 && p1[i]==1)
            p[i]=1;
        else
            p[i]+=p1[i];
        if( q[i]==1 && q1[i]==1 )
            q[i]=1;
        else
            q[i]+=q1[i];
    }
    d+=c1;
}

pass2()
{
    int i;
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        a[i][0]=ai[i]; a[0][i]=aj[i];
        if( p[i]==1 && pd[i]==1 )
            p[i]=1;
        else
            p[i]+=pd[i];
        if( q[i]+qd[i]==2 )
            q[i]=1;
        else
            q[i]+=qd[i];
    }
    d+=cc;
}

ans(int i)
{
    int k;
    for(k=1;k<=n;k++)
        printf("(%2d %2d)",k,jj[k]);
    printf("\n"); i--; kai++;
    return(i);
}

hyo()
{
    int i,j;
    char *f;
    hyo:
    for(i=1;i<=n;i++)
    {
        printf("\n%4d 行 ",i);
        for(j=1;j<=n;j++)
            printf(" %d",a[i][j]);
    }
    while(1)
    {
        printf("\n\n正しいですか。 y / n ? ");
        f=getche();
        if(f=='y' || f=='Y')
            break;
        else if(f=='n' || f=='N')
        {
            teisei();
            goto hyo;
        }
    }
}

```

```
    }  
  }  
}  
teisei()  
{  
    int i,j,k;  
    char *f;  
    while(1)  
    {  
        printf("%n何行目ですか？");  
        scanf("%d",&i);  
        printf("%n何列目ですか？");  
        scanf("%d",&j);  
        printf("%nA(%2d,%2d)=%d",i,j,a[i][j]);  
        printf("%n訂正したい値は？");  
        scanf("%d",&k);  
        a[i][j]=k;  
        printf("%n訂正は終わりましたか？");  
        f=getche();  
        printf("%n");  
        if(f=='y' || f=='Y')  
            break;  
    }  
}
```

